

目次

序

『ヒロシマの証言』刊行にあたって

第一編 被爆体験

一 原爆が落ちた時 2

原子雲の外から 2

原子雲の下で 15

二 生きながらの地獄図 38

炎と雨の中で 38

炎の街にはいる 54

三 廃墟と屍の街 68

四 原爆投下の状況 94

予想もできなかった 94

原爆投下は警告されていたか 95

なぜ原爆は投下されたか 97

五 平和のねがい 102

被爆者の声 102

被爆体験をどう受けとめるか 112

第二編 被爆者と市民の生活史

一 原爆孤児 116

一〇年ぶりの茶の間 116

原爆直後の孤児 121

孤児の生活 125

アメリカの精神養子運動 132

広島子どもを守る会 133

二 原爆障害に悩む人びと 143

広島の子 143

ピカドン傷 155

きのご雲の下より 167

三 原爆孤老 180

行くところなし 180

さかさごと 186

現実の対策 194

四 原爆を作品に書いた人たち 199

原民喜 199

大田洋子 203

阿川弘之 206

原子爆弾特集号 207

正田篠枝 209

詩の発表 211

峠三吉 212

反戦詩歌集 214

「歌集・広島」と「句集・広島」 215

原爆と小説 219

五 立ち上がった人びと 221

木片を探す少年 221

晴れたある日	226
愛の手	231
六 報道関係の努力	237
報道と権力	237
平和運動と報道	242
原点をさぐる	245
七 身近かて遠い被爆者たち	254
“核の島・沖繩”の二七三人	254
被爆した朝鮮人	261
八 平和教育への道程	271
驚くほど空白的な平和教育	271
平和教育の初期	273
平和教育の窒息	281
広島の平和教育	282
教室での平和教育	284
「現代っ子」の平和意識	296

第三編 被爆者救援と平和への努力

原爆タブーの時代・それでも広島は屈しなかった 318

一九四五年(昭二〇) 318

原爆投下／被爆後の応急措置／付記

一九四六年(昭二一) 324

平和復興祭／広島市青年連合会／付記

一九四七年(昭二二) 327

平和祭と平和記念式典／ABCC／付記

一九四八年(昭二三) 334

ヒロシマ・ピース・センター／付記

一九四九年(昭二四) 338

平和擁護広島大会／世界連邦運動／平和記念都市建設法／シュモール・ハウス／付記

一九五〇年(昭二五) 346

ストックホルム・アピールの反響／付記

一九五一年(昭二六) 349

作文集「原爆の子」／原爆問題研究発表の活発化／付記

原水禁運動興隆の時代・みんなが願った原水爆禁止 353

一九五二年(昭二七) 353

原爆被害者の会／世界仏教徒会議／付記

一九五三年(昭二八) 355

広島原対協／大学人の会／付記

一九五四年(昭二九) 360

反核の叫び全国に広がる／広島県原水協／ドイツから平和の鐘

一九五五年(昭三〇) 366

第一回原水禁世界大会(広島)／広島の原点・原爆資料館／平和美術展／皆実原爆被害者の会／付記

一九五六年(昭三一) 374

広島県被団協／日本被団協／原爆の子の像／広島原爆障害研究会／付記

一九五七年(昭三二) 381

被爆者医療法／広島憩いの家／付記

一九五八年(昭三三) 384

ヨット「フェニックス」号／折鶴の会／付記

混迷の時代・努力を続ける人びと 387

一九五九年(昭三四) 387

第五回原水禁世界大会(広島)／付記

- 一九六〇年（昭三五） 389
 第六回原水禁世界大会（東京）／原水禁広島母の会／付記
- 一九六一年（昭三六） 391
 広島キリスト者平和の会／付記
- 一九六二年（昭三七） 394
- 一九六三年（昭三八） 395
 第九回原水禁世界大会（広島）／原爆裁判の判決／付記
- 一九六四年（昭三九） 399
 世界平和巡礼／「原水爆被災白書」運動／付記
- 一九六五年（昭四〇） 405
 ワールド・フレンドシップ・センター／広島通信／付記
- 一九六六年（昭四一） 407
 原爆ドームの保存／付記
- 一九六七年（昭四二） 413
 広島平和文化センター／ベトナム戦傷孤児の救援／ヒロシマ研究会の会／市民対話の会／付記
- 一九六八年（昭四三） 421
 原爆被災資料の収集／原爆被災全体像調査／被爆者特別措置法／付記
- わたくしたちは何をしたらよいか 431

付録 原爆被害の科学的資料

437

引用・参考資料目録

453

